

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p>	<p>D:計画を実行しその効果を測定する。</p> <p>実施状況(実施率)</p>	<p>C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。</p> <p>評価</p>	<p>A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる</p>
<p>1.&lt;外国語学部&gt; ■就職内定率量的向上 97%以上 ■実就職率 93%以上</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①全員面談実施率の前年越えを前期から目指し4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて75%) ②進路調書提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて79%) 【4年生】 ①「Weekly説明会」参加企業数昨年比20%増(2022年33社→目標40社越目標)にて、学生の選択肢を広げる。 ②ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 【全学年】 ①ガイダンスや支援講座を対面実施にて行い就活を意識付けさせる。(過去のオンデマンド配信結果が一桁視聴しかないことが多く、配信があることによる油断をなくし、参加へ意欲を持たせる為) ②OB・OG訪問を運用ルール化により促進する。</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 【3年生】 ①初回全員面談を前期中に実施し、実施率81%であった。(前年度比較+6ポイント) ②進路調書を4月のガイダンスにて配布し、回収率83%であった。(前年度比較+4ポイント) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。 【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1~6/26まで実施をし、参加企業数41社、外経入合わせて内定者数9名であった。目標値として掲げていた「40社」以上の企業様に参加をいただき学生の選択肢増に寄与することができた。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者2名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者3名であった。 【全学年】 ①キャリアガイダンス、支援講座を含めて「対面」にて実施をした。講座参加数をさらに伸ばすために、先生方に協力いただき、各ゼミナール内にてチラシ等配布をお願いする。②「卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願い」を作成し、企業様に協力を仰いでいる。現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、それらに準じた形でOB、OG訪問を実施するようルール化していく。</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 引き続き連絡がとれない学生への架電、チャット、ゼミの先生方へのご協力をお願いと通じて、学生の動きを把握し内定獲得まで個別支援を継続している。また、3年生を対象とした「就職活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に今後のキャリア支援に活かしていく。</p>
<p>1.&lt;経営学部&gt; ■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①全員面談実施率の前年越えを前期から目指し4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて81%) ②進路調書提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて88%) 【4年生】 ①「Weekly説明会」参加企業数昨年比20%増(2022年33社→目標40社越目標)にて、学生の選択肢を広げる。 ②ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 【全学年】 ①ガイダンスや支援講座を対面実施にて行い就活を意識付けさせる。(過去のオンデマンド配信結果が一桁視聴しかないことが多く、配信があることによる油断をなくし、参加へ意欲を持たせる為) ②OB・OG訪問を運用ルール化により促進する。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 【3年生】 ①初回全員面談を前期中に実施し、実施率82.6%であった。(前年度比較+1.6ポイント) ②進路調書を4月のガイダンスにて配布し、回収率91.1%であった。(前年度比較+3.1ポイント) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。 【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1~6/26まで実施をし、参加企業数41社、内定者数9名であった。目標値として掲げていた「40社」以上の企業様に参加をいただき学生の選択肢増に寄与することができた。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者3名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者4名であった。 【全学年】 ①キャリアガイダンス、支援講座を含めて「対面」にて実施をした。講座参加数をさらに伸ばすために、先生方に協力いただき、各ゼミナール内にてチラシ等配布をお願いする。②「卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願い」を作成し、10月から企業訪問時、企業来校時に配布・協力をお願いを実施している。現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、それらに準じた形でOB、OG訪問を実施するようルール化していく。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 引き続き連絡がとれない学生への架電、チャット、ゼミの先生方へのご協力をお願いと通じて、学生の動きを把握し内定獲得まで個別支援を継続している。また、3年生を対象とした「就職活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に今後のキャリア支援に活かしていく。</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p>
<p>1.&lt;外国語学部&gt; ■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上</p>
<p>1.&lt;経営学部&gt; ■就職内定率量的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上</p>

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>1.&lt;人間学部&gt;                      ■就職内定率量的向上 98%以上                      ■実就職率改善 93%以上</p>	<p>D:計画を実行しその効果を測定する。</p> <p>実施状況(実施率)</p> <p>&lt;人間学部&gt;                      ・オンラインと対面によるサポートの併用し、効果的な支援を実施。教職協働しながら、個別面談、各イベント、授業でのイベント告知などを積極的にこない、学生のキャリア意識の向上を図る。                      ・福祉ジョブフェアの4年ぶりの対面実施。</p> <p>5月末内定率                      =17.3%                      (コ社)                      =29.1%                      福祉Mgt.                      =38.1%                      福祉SW                      =8.9%                      児童発達                      =2.6%                      心理                      =27.6%)                      実就職率                      =16.4%</p>	<p>C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。</p> <p>評価</p> <p>&lt;人間学部&gt;                      ・昨年度に比べて一般企業就職の内定進捗が早い、積極的に活動する4年生が多かったと同時に、企業の早期採用が増加している。                      ・専門職就職については例年並みに進捗している。</p> <p>10月1日内定率                      =43.9%                      (コ社)                      =69.6%                      福祉Mgt.                      =71.4%                      福祉SW                      =30.4%                      児童発達                      =12.3%                      心理                      =66.7%)                      実就職率                      =40.7%</p> <p>5月1日内定率                      =96.9%                      (コ社)                      =97.1%                      福祉Mgt.                      =94.1%                      福祉SW                      =95.4%                      児童発達                      =98.9%                      心理                      =96.0%)                      実就職率                      =83.7%</p>	<p>A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる</p> <p>&lt;人間学部&gt;                      2月末現在では評価できないが、前年度よりも内定率の進捗は良好であった。豊富なキャリアイベントがある一方、学生の参加が引き続き課題となっているため、低学年における方向づけから高学年での活動まで継続支援をベースとして、ニーズのあるイベントの企画、イベントの日程調整、告知方法の工夫などを改善点とする。</p>
<p>1.&lt;保健医療技術学部&gt;                      ■就職内定率 100%                      ■実就職率改善 98%以上                      早期に看護学科、臨床検査学科にて就職ガイダンスを実施</p> <p>7月 理学療法学科 就職ガイダンス                      8月 作業療法学科 就職ガイダンス                      8月 PTOT合同オンライン就職説明会</p> <p>各学科における就職先探しの個別支援                      国家合格率の向上:全国模試を支援</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt;                      コロナの対策が5類になったことにより対面による就職説明会を開催した。学生と求人サイドとの対面による質疑応答の機会を提供し、学生と求人サイドを直接つなぐ機会を提供するとともに教員・職員によるサポートにより「より成長できる就職先探しをサポートする」と学生の満足度の高い就職を支援する。</p> <p>PTOT合同就職説明会参加施設数 227施設</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt;                      8月8日にPTOT学内合同就職説明会を対面で開催。220超の医療機関・施設にご参加いただき、学生もフル・クルで参加し、関心のある施設の説明を聴講、質疑応答も活発に行われました。その後の就活において、この合説を起点として就活を進め、内定を獲得した学生も多く、みのりのある機会と場となるだけでなく、学生の満足度(催事・内定先)も高いものとなりました。また、看護・臨床においても、3年生の早い時期からガイダンスやOBOG就職説明会などを実施して、将来の就職・職務のイメージを意識して、モチベーションアップを図っています。</p> <p>PTOT合同就職説明会参加227施設</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt;                      改革総合支援事業の一環として、卒業生の就職先に、本学の学生や教育などに求めるものをヒヤリングし、その回答を学部進路支援委員会にて協議を行い、次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこと、また、例年晩秋に実施している卒業3年経過の卒業生ならびに就職先へアンケートも、それらの結果を分析して、同様に次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。それらのことにより、学生と就職先とのマッチング度合いをさらに向上させ、短期に確実に満足度の高い就活と実績づくりに貢献・反映させていきたいと考えています。</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>1.&lt;人間学部&gt;                      ■就職内定率量的向上 98%以上                      ■実就職率改善 93%以上</p>
<p>1.&lt;保健医療技術学部&gt;                      ■就職内定率 100%                      ■実就職率改善 98%以上                      早期に看護学科、臨床検査学科にて就職ガイダンスを実施</p> <p>【看護】                      6月 就活ガイダンスオンデマンド配信(3年生)                      7月 保健師座談会(2,3年生)</p> <p>【臨床】                      6月 OBOGキャリア相談会(4年生)                      7月 面接対策講座(4年生)                      8月 キャリアガイダンス(3年生)</p> <p>【理学・作業】                      4月 理学療法学科 就職ガイダンス                      8月 作業療法学科 就職ガイダンス                      8月 PTOT合同オンライン就職説明会</p> <p>各学科における就職先探しの個別支援                      国家合格率の向上:全国模試を支援</p>

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p>	<p>D:計画を実行しその効果を測定する。</p>	<p>C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。</p>	<p>A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる</p>
<p>2.&lt;外国語学部&gt; ■就職内定率質的向上 高校生・保護者への訴求効果のある企業内定獲得向上 ①学生へのチャレンジ促し ②難関企業内定獲得</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ・全員面談実施率の前年越えを目指す ・4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて75%) ・進路調査提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて79%)  【4年生】 ①「Weekly学内説明会」参加企業からの内定率50%を達成する。(2022年外経合算46%) ②ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。  【全学年】 ①OBOG訪問を運用ルール化により促進する。 ②SPI試験の非言語分野に苦手意識を持つ学生が多いことを鑑み、SPI講座及び公務員講座を開講し、低学年時からの基礎学力向上を図り、上場企業・関連企業50%以上を目指す。</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 【3年生】 ・初回全員面談を前期中に実施し、実施率81%であった。(2022年度後期実施にて75%) ・進路調査を4月のガイダンスにて配布し、回収率93%であった。(2022年度後期実施にて79%) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。  【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1～6/26まで実施をし、参加企業数41社、外経人合わせて内定者数9名であった。目標値として掲げていた「40社」以上の企業様に参加をいただき学生の選択肢増に寄与することができた。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者2名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者3名であった。  【全学年】 ①卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願いを作成し、10月から企業訪問時、企業来校時に配布・協力のお願いを実施している。企業訪問先については、上場・上場関連企業を中心に選定しており、次年度以降の目標数値達成を目的としている。 現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、それに準じた形でOB、OG訪問を実施するようルール化していく。 ②SPI試験対策講座を5/11～7/13まで実施し、受講者は58名であった。後期も引き続き講座を開講し、基礎学力向上を図る。</p>	<p>(外国語学部) 個別面談等を通じて上場企業・関連企業、営業職・総合職募集の求人を紹介している。  10月1日上場・上場関連企業内定率 =35.8%  5月1日上場・上場関連企業内定率 =33.9%</p>
<p>2.&lt;経営学部&gt; ■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定獲得向上 ①上場企業・関連企業50%以上 (キャリア戦略会議目標数値)</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①全員面談実施率の前年越えを前期から目指し4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて81%) ②進路調査提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて88%)  【4年生】 ①「Weekly説明会」参加企業数昨年比20%増(2022年33社→目標40社)越目標にて、学生の選択肢を広げる。 ②ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。  【全学年】 ①ガイダンスや支援講座を対面実施にて行い、就活を意識させる。(過去のオンデマンド配信結果が一桁視聴しなことが多く、配信があることによる油断をなくし、参加へ意欲を持たせる為) ②OBOG訪問を運用ルール化により促進する。 ③SPI試験の非言語分野に苦手意識を持つ学生が多いことを鑑み、SPI試験対策講座を開講し、低学年時からの基礎学力向上を図り、上場企業・関連企業50%以上を目指す。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 【3年生】 ①初回全員面談を前期中に実施し、実施率82.6%であった。(前年度比較+1.6ポイント) ②進路調査を4月のガイダンスにて配布し、回収率91.1%であった。(前年度比較+3.1ポイント) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。  【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1～6/26まで実施をし、参加企業数41社、内定者数9名であった。目標値として掲げていた「40社」以上の企業様に参加をいただき学生の選択肢増に寄与することができた。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者3名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者4名であった。  【全学年】 ①キャリアガイダンス、支援講座を含めて「対面」にて実施をした。講座参加数をさらに伸ばすために、先生方に協力いただき、各ゼミナール内にてチラシ等配布をお願いする。 ②卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願いを作成し、10月から企業訪問時、企業来校時に配布・協力のお願いを実施している。企業訪問先については、上場・上場関連企業を中心に選定しており、次年度以降の目標数値達成を目的としている。 現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、それに準じた形でOB、OG訪問を実施するようルール化していく。 ③SPI試験対策講座を5/11～7/13まで実施し、受講者は62名であった。後期も引き続き講座を開講し、基礎学力向上を図る。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 個別面談等を通じて上場企業・関連企業、営業職・総合職募集の求人を紹介している。  10月1日上場・上場関連企業内定率 =37.4%  5月1日上場・上場関連企業内定率 =35.3%</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p>
<p>2.&lt;外国語学部&gt; ■就職内定率質的向上 高校生・保護者への訴求効果のある企業内定獲得向上 ①学生へのチャレンジ促し ②難関企業内定獲得</p>
<p>2.&lt;経営学部&gt; ■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定獲得向上 ①上場企業・関連企業50%以上 (キャリア戦略会議目標数値)</p>

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
2.<人間学部> ■就職内定率質的向上 顧客から選ばれる企業内定向上 ①上場企業・関連企業35%以上 (学部キャリア委員会目標値)	<人間学部> 昨年度の上場・関連企業への内定率は低水準(23.7%)であったため、今年度も本項目が人間学部の大きな課題となる。	10月1日現在上場・上場関連企業内定率=25.8%	<人間学部> 10月時点ですでに昨年度実績を上回ったが、学科別にみると、低水準であるコミ社が課題として残る。なお、福祉・児童において8割近いのは、分母が小さいため。	10月1日上場・上場関連企業内定率=25.8  5月1日上場・上場関連企業内定率=30.5%	<人間学部> 2月末現在で心理の上場企業・関連企業の目標値を達成した。一方、他の学科は目標値に届いていないため、来年度はこの点を重点的に支援することが求められる。
3.<外国語学部> ■就職内定率時期的向上 10月1日就職内定率80%以上	<外国語学部> 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるため以下2点を実施する。 ・3年生全員面談実施率の前年越えを前期から目指し4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて75%) ・3年生進路調書提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて79%) 【4年生】 「Weekly学内説明会」参加企業からの内定率50%を達成する。(2022年外経合算46%) ・ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 【全学年】 ガイダンスや支援講座を対面実施にて重要性を与え就活を意識付する(過去のオンデマンド配信結果が一桁視聴しないことが多く、配信があることによる油断をなくし、参加へ意欲を持たせる為) ・OB・OG訪問を運用ルール化により促進する。	・Weeklyオンライン学内企業説明会を3月から実施し、内定者も出ている。 ・ゼミ担当職員が個別面談を実施している。	<外国語学部> 【3年生】 ・初回全員面談を前期中に実施し、実施率81%であった。(2022年度後期実施にて75%) ・進路調書を4月のガイダンスにて配布し、回収率83%であった。(2022年度後期実施にて79%) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。 【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1～6/26まで実施をし、参加企業数41社、外経人合わせて内定者数9名であった。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者2名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者3名であった。 【全学年】 ①「卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願い」を作成し、10月から企業訪問時、企業来校時に配布・協力をお願いを実施している。企業訪問先については、上場・上場関連企業を中心に選定しており、次年度以降の目標数値達成を目的としている。 現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、それに準じた形でOB・OG訪問を実施するようルール化していく。 ②SPI試験対策講座を5/11～7/13まで実施し、受講者は58名であった。 後期も引き続き講座を開講し、基礎学力向上を図る。	10月1日内定率=66.8% 実就職率=61.1%	<外国語学部> 3年生次に全員個別面談を通して早期に就活をスタートさせるよう促していく。 また、「就職活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に今後のキャリア支援に活かしていく。

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
2.<人間学部> ■就職内定率質的向上 ①上場企業・関連企業35%以上 (学部キャリア委員会目標値)
3.<外国語学部> ■就職内定率時期的向上 10月1日就職内定率80%以上

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。		C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
	実施状況(実施率)		評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
3.<経営学部> ■一般企業就職希望者就職内定率時期的向上 10月1日内定率80%以上 (前年実績63.7%)	<経営学部> 【3年生】 就活の早期化に対応して、3年次前期から本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①全員面談実施率の前年越えを前期から目指し4月前期から初回面談を実施する。(2022年後期実施にて81%) ②進路調書提出率の前年越えを前期から目指し4月初回ガイダンスにて配付する。(2022年後期実施にて88%) 【4年生】 ①「Weekly説明会」参加企業数昨年比20%増(2022年33社→目標40社越目標)にて、学生の選択肢を広げる。 ②ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 【全学年】 ①ガイダンスや支援講座を対面実施にて行い就活を意識付けさせる。(過去のオンデマンド配信結果が一桁視聴しかないことが多く、配信があることによる油断をなくし、参加へ意欲を持たせる為) ②OB・OG訪問を運用ルール化により促進する。		<経営学部> 【3年生】 ①初回全員面談を前期中に実施し、実施率82.6%であった。(前年度比較+1.6ポイント) ②進路調書を4月のガイダンスにて配布し、回収率91.1%であった。(前年度比較+3.1ポイント) 就活の早期化に対応して、次年度の目標達成に向けて3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。 【4年生】 ①「Weeklyオンライン学内企業説明会」開催時期を3/1～6/26まで実施をし、参加企業数41社、内定者数9名であった。目標値として掲げていた「40社」以上の企業様に参加をいただき学生の選択肢増に寄与することができた。 ②ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者3名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者4名であった。 【全学年】 ①キャリアガイダンス、支援講座を含めすべて「対面」にて実施をした。講座参加数をさらに伸ばすために、先生方に協力いただき、各ゼミナール内にてチラシ等配布をお願いする。 ②「卒業生者名簿ご提供および卒業生訪問に関するお願い」を作成し、10月から企業訪問時、企業来校時に配布・協力のお願いを実施している。 現在、それを基にOB・OG名簿を作成し、さらに準じた形でOB、OG訪問を実施するようルール化していく。	10月1日内定率 = 69.0% 実就職率 = 66.5%	<経営学部> 3年生次に全員個別面談を通して早期に就活をスタートさせるよう促していく。 また、「就職活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に今後のキャリア支援に活かしていく。

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
3.<経営学部> ■一般企業就職希望者就職内定率時期的向上 10月1日内定率80%以上 (前年実績63.7%)

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
<p>3.&lt;人間学部&gt; ■一般企業就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日時点での内定率60%以上  (前年度実績58.2%=もう一息) ※専門職除く</p>	<p>&lt;人間学部&gt; ・3年生から個別面談の実施 ・3月からWeeklyオンライン学内企業説明会の実施</p>		<p>&lt;人間学部&gt; 上記1と同様。一般企業への就職がほとんどを占めるコミ社・福祉Mgt.・心理に限定すれば、いずれも7割程度を達成している。</p>	<p>10月1日内定率 =43.9% (コミ社 =69.6% 福祉Mgt. =71.4% 福祉SW =30.4% 児童発達 =12.3% 心理 =66.7%) 実就職率 =40.7%</p>	<p>&lt;人間学部&gt; 上述のように、昨年度よりも向上した。これは、学生が活発に就職活動した結果であると同時に、企業の採用活動の早期化も要因であると考えられる。学科別にみると、一般企業就職としては心理の進捗がやや遅いため、来年度の支援強化が求められる。</p>
<p>3.&lt;保健医療技術学部&gt; ■医療機関就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日以内定率60%以上  (前年実績51.0%) ※看護学科は98.8% ※他3学科は就活初動時期</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt; 看護学科、4月から就職試験が始まるので前年度の3月に就職ガイダンスを来ない就職指導を進めていく。臨床検査学科 夏休み前に就職ガイダンスを行い、就職指導を進める。理学療法学科、作業療法学科は7月末まで臨床実習のため、その後、就職ガイダンス、PTOT合同のWeb上の就職説明会を行い、その後、就職指導を進めていく。学部全体で就職率100%を目標とする。</p>	<p>PLANの1,の通り</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt; 10月末現在 学部内定率= 63.5 % 同実就職率= 59.9 %  ・理学療法学科 = 65.3 % ・作業療法学科 = 54.3 % ・臨床検査学科 = 30.3 % ・看護学科 = 100%  看護は100%達成。理学・作業については、現在、就活の佳境を迎えており、来月にはその収穫期を迎える。PTは今年から実習のカリキュラムが変わり、就活時期が遅くなる要因がある。臨床は国試終了後に再開。</p>	<p>同左</p>	<p>&lt;保健医療技術学部&gt; ・看護の求人は他職種とは異なり、春先の3月から選考試験が始まることから、早期の就活に沿って、3年生からガイダンスを実施。  ・理学作業は、前期は病院実習で就活は叶わないため実習帰校後の8月のPTOT合説を皮切りに就活を開始し、11月までを目途に90%超の内定を獲得する日程で、今後も取り組んでいく。  ・臨床は、前期の卒研修了後に就活を開始。応募書類の提出期限も定められているので次年度以降は、もう少し早目の取り組みを促していきたい。</p>
<p>4.&lt;外国語学部&gt; ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 就活の早期化に対応するため以下の施策を実施する。 【3年生】 ①昨年後期8回連続講座の「シューカツマスター講座」を前後期に分割させ、各4回の短期集中講座にて改革し改善する。長期開講より就活対策の学びの機会を増やした学生が参加しやすい回数での実施にて、参加者数を前年より倍増させる。(2022年22名→2023年目標44名越) ②3年生キャリア科目「キャリアデザインⅣ」の一部として担当教員との連携のもと、就活模擬面接会を2日間、各15社の企業誘致を予定している。 ③上述した進路面談実施・進路調査配付の前倒しする。  【4年生】 ①ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。  【低学年支援】 ①「キャリアサブゼミ」を低学年向けに開講し、早期からのキャリア意識醸成に寄与する。</p>		<p>&lt;外国語学部&gt; 【3年生】 ①5/10・5/17・5/24・6/7全4回「シューカツマスター講座」を開講し、参加者は9名であった。 後期も4回の講座を開催予定であり、引き続き学びの機会提供に努める。 ②就活模擬面接会を7/1(土)・8(土)2日間実施し、各10社参加。早期からの企業研究を実施することで就活への意識付けを高めることができた。 ③初回全員面談を前期中に実施し、実施率81%であった。(2022年度後期実施にて75%)また、進路調査を4月のガイダンスにて配布し、回収率83%であった。(2022年度後期実施にて79%) 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。  【4年生】 ①ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者2名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者3名であった。  【低学年】 ①「キャリアサブゼミ」を11月より実施予定であり、低学年からのキャリア意識醸成を目的とした内容にて講座を運営していく。</p>		<p>&lt;外国語学部&gt; 就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。引き続き支援に努める</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>3.&lt;人間学部&gt; ■一般企業就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日時点での内定率60%以上 (前年度実績65.9%) ※専門職除く</p>
<p>3.&lt;保健医療技術学部&gt; ■医療機関就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日以内定率60%以上  (前年実績68.4%) ※看護学科は100% ※他3学科は就活初動時期</p>
<p>4.&lt;外国語学部&gt; ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就活環境変化への対応</p>



2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>4.&lt;経営学部&gt;                      ■キャリア支援の質的向上 I                      キャリアセンター支援施策                      就活環境変化への対応</p> <p>①目的:「改革総合支援事業」採択                      目標:「学修成果について産業界との協議」実施                      手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒアリング」実施                      内容: I 企業等が学生に求める能力                      II 採用時にどのような情報を必要としているか                      期限:前期中</p> <p>②目的:同上                      目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」                      期限:前期中</p>	<p>D:計画を実行しその効果を測定する。</p> <p>実施状況 (実施率)</p> <p>&lt;経営学部&gt;                      就活の早期化に対応するため以下の施策を実施する。                      【3年生】                      ①昨年後期3回連続講座の「シューカツマスター講座」を前後期に分割させ、各4回の短期集中講座にて改革し改善する。長期開講より就活対策の学びの機会を増やした学生が参加しやすい回数での実施にて、参加者数を前年より倍増させる。(2022年22名→2023年目標44名越)                      ②上述した進路面談実施・進路調査配付の前倒し。</p> <p>【4年生】                      ①ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。</p> <p>【低学年】                      ①「キャリアサブゼミ」を低学年向けに開講し、早期からのキャリア意識醸成に寄与する。</p> <p>【改革総合支援事業】                      ①「学修成果について産業界との協議」の実施                      ②「卒業後アンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」の実施</p>	<p>C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。</p> <p>評価</p> <p>&lt;経営学部&gt;                      【3年生】                      ①5/10・5/17・5/24・6/7全4回「シューカツマスター講座」を開講し、参加者は17名であった。                      後期も4回の講座を開催予定であり、引き続き学びの機会提供に努める。                      ②初回全員面談を前期中に実施し、実施率82.6%であった。(前年度比較+1.6ポイント)                      進路調査については4月のガイダンスにて配布し、回収率91.1%であった。(前年度比較+3.1ポイント)                      就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。後期も引き続き支援に努める。                      【4年生】                      ①ハローワークガイダンスを6/8に実施し、参加者3名であった。また、就職エージェントからの特別求人公開セミナーを6/16・7/14に実施し、参加者4名であった。                      【低学年】                      ①「キャリアサブゼミ」を11月より実施予定であり、低学年からのキャリア意識醸成を目的とした内容にて講座を運営していく。                      【改革総合支援事業】                      ①今年度は人間学部及び保健医療技術学部で実施した内容にて申請した。                      ②「2022年度卒業生・就職先アンケート調査結果報告」分析を全学教務委員会に依頼をした。</p>	<p>A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる</p> <p>&lt;経営学部&gt;                      就活の早期化に対応して、3年生前期より上記取り組みを行った。引き続き支援に努める。</p>
<p>4.&lt;人間学部&gt;                      ・3年生向けイベントの動員向上                      ・低学年の段階からキャリア意識を向上させる施策の検討(特にキャンパス移行のあるコミ社・福祉マネ)                      ・成績、入試、PROGなど既存データと就職活動の分析可能性を検討</p>	<p>&lt;人間学部&gt;                      ・3年生向けイベント動員向上策として、キャリア科目内にて告知を実施。また、4月より全員面談を実施し、イベントへの誘致を実施した(本郷)。                      ・コミ社の初年次教育で、キャリアセンターによる講演を予定。                      ・1・2年生向け学生企業見学会の実施。                      ・心理で、11月下旬に卒業生の体験談を昼休みに開催予定。                      ・福祉と見発で、12月に3年生を対象に就職ガイダンスを開催予定。                      ・2月6・7日に、学内合同就職説明会を開催予定。                      ・2月に、文化放送キャリアパートナーズの講師を招いて、面接セミナーを開催予定。</p>	<p>&lt;人間学部&gt;                      ・(3年生のイベント動員状況についての記述)                      ・シューカツマスター講座講座参加者14名(コミ社11名、福マネ3名)トモキャリア参加者8名(コミ社4名、福マネ4名)                      ・SPI対策講座参加者31名(コミ社30名、福マネ1名)                      (以上、本郷)                      ・学生企業見学会については、参加学生と企業とのあいだで有意義な交流がおこなわれた。より多くの学生の参加が望まれる。                      ・左記の今後の支援施策に向けて多数の参加を促進していく。</p>	<p>学生企業見学会延べ参加人数9名</p> <p>&lt;人間学部&gt;                      ・(3年生のイベント動員向上)Teamsでのイベント告知に対する学生の反応が芳しくない傾向にあるため、授業を利用した対面告知を強化する。                      ・(低学年のキャリア意識向上)コミ社「初年次教育演習Ⅱ」でキャリアセンター紹介を実施したところ好評であったため、次年度も継続実施したい。2年生向けの取り組みがないため、ふじみ野市産業振興課と連携して「対人コミュニケーション演習」で産学連携授業を検討中。                      ・(既存データと就職活動の分析可能性の検討)PROGテストの個人データはキャリア指導に有効であると考えられるため、キャリアセンターで共有できるように要望する。</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>4.&lt;経営学部&gt;                      ■キャリア支援の質的向上 I                      キャリアセンター支援施策                      就活環境変化への対応</p> <p>①目的:「改革総合支援事業」採択                      目標:「学修成果について産業界との協議」実施                      手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒアリング」実施                      内容: I 企業等が学生に求める能力                      II 採用時にどのような情報を必要としているか                      期限:前期中</p> <p>②目的:同上                      目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」                      期限:前期中</p>
<p>4.&lt;人間学部&gt;                      ・3年生向けイベントの動員向上                      ・低学年の段階からキャリア意識を向上させる施策の検討(特にキャンパス移行のあるコミ社・福祉マネ)                      ・PROGテストの個人データは、個人情報保護の観点から共有不可とのことであるため、集計データや他データの活用を検討する。</p>

2023年度 キャリア戦略(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>4.&lt;保健医療技術学部&gt; 目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」 実施手段:「本学に特化した医療機関へのヒアリング」実施 内容:Ⅰ病院等が学生に求める能力 Ⅱ採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中にヒヤリング 検証:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中に進路支援委員会で検証</p>	<p>D:計画を実行しその効果を測定する。</p> <p>&lt;保健医療技術学部&gt; 卒業生の調査・検証結果から教職員間で連携し、学生への指導・サポートに活かしていくこととする。 6月の臨床のOBOG就職相談会以降は7,8月に開催</p>	<p>C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。</p> <p>評価 &lt;保健医療技術学部&gt; 改革総合支援事業の一環として、卒業生の就職先に、本学の学生や教育などに求めるものをヒヤリングし、その回答を学部進路支援委員会にて協議を行ない、次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。 また、例年晩秋に実施している卒業3年経過の卒業生ならびに就職先へアンケートも実施しており、それらの結果を分析して、同様に次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。</p>	<p>A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる</p> <p>&lt;保健医療技術学部&gt; 同左の結果を踏まえて、第四四半期において次年度へのActionを策定することとします。 左記内容を受けて、10月までに各学科の先生方から、その対応検討事項をご提示いただき、11月1日の進路支援委員会にてご確認の上、これからの学生指導に反映・活かしていくこととなりました。</p>
<p>5.&lt;外国語学部&gt; ■キャリア支援の質的向上Ⅱ キャリア教育科目改善継続実施 アセスメントによる効果測定(実施) &lt;継続課題&gt;</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 2021年度3年次キャリア科目必修化元年度の就職進捗率及び結果をクラス毎に調査し、効果検証継続実施。 【4年生】 ・キャリア教育4年次継続実証研究クラス 6月末日時点内定率100%達成 ⇒連続キャリア教育の効果検証5年連続実証、超難関企業輩出(ミリアルリゾートホテルズ、ANA、外資系企業、大手企業輩出) 【3年生】 ・キャリア教育プロフェッショナル教員2クラス配置 ・アセスメントテスト前期3回継続実践 ・7月模擬面接会必修実施継続</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; 11月1日時点クラス別内定率 ビジネスA80.6% ビジネスB71.9% 教養A63.6% 教養B67.7% ビジネスコースにおいて結果を出している 【4年生】 ・キャリア教育4年次継続実証研究クラス6月末日時点内定率100%達成 ⇒連続キャリア教育の効果検証5年連続実証、超難関企業輩出(ミリアルリゾートホテルズ、ANA、JALスカイ、KNT、日本旅行、ベニンシュラ、外資系企業、大手企業輩出 強化クラスは、質量とも結果を出している</p>	<p>&lt;外国語学部&gt; キャリアデザイン科目において、2024年度は大幅な教員の変更や3クラス体制で運営していくことに鑑み、別の目標(計画)を立てることとする。</p>
<p>5.&lt;経営学部&gt; 授業内容を事前に定め、担当する非常勤講師の選定に際しては科目適合性を重視し、採用につなげることができた。来年度は具体的な授業内容についてPDCAサイクルを回していく。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 新しい関連科目群を新しい教員の体制で始動した。 ・キャリアデザインⅠ:1年前期、必修 ・キャリアデザインⅡ:1年後期、選択 ・キャリアデザインⅢ:2年前期、選択 ・キャリアデザインⅣ:2年後期、選択 ・短期インターンシップ:1年次</p>	<p>&lt;経営学部&gt; ・必修のキャリアデザインⅠは成績順に4クラスに分けた。 ・クラスによる出来具合の差が大きく出ている。1番上のクラスは、事前課題も事後課題もしっかり取り組む。最下位のクラスは、「勉強以前の問題」で、マナーも何もできない。 ・自身のキャリア形成に役立つ内容を学べる授業だということを理解し、前向きに授業に取り組む学生が増えた。特に、成績上位のクラスは、毎回質問が多数寄せられた。 ・特に、不本意入学の学生のモチベーションアップに貢献できた。</p>	<p>&lt;経営学部&gt; 2023年度の1年次配当科目から新カリキュラムの運用を開始した。併せて、2024年度から実施される2年次配当科目について、その詳細内容の検討や担当教員(外部講師を含む)の選定を行った。 ・成績上位の学生からは意欲的な学びを感じられた反面、成績下位の学生には理解するのが少々難しかった(特にキャリア論などの概念的な内容を扱った回)。 ・課題が明確になったことが成果と言える。</p>

2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)
<p>P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。</p> <p>4.&lt;保健医療技術学部&gt; 目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」 実施手段:「本学に特化した医療機関へのヒアリング」実施 内容:Ⅰ病院等が学生に求める能力 Ⅱ採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中にヒヤリング 検証:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中に進路支援委員会で検証</p>
<p>5.&lt;外国語学部&gt; ■就職活動早期化に伴う支援施策 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 2.2年次インターンシップ参加人数10人以上</p>
<p>5.&lt;経営学部&gt; ■2024年度は、新カリキュラムが全面的に動き出すことになる。具体的な授業内容についてPDCAサイクルを実践的に回していく。 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 2.2年次インターンシップ参加人数15人以上</p>